様式１－３（統一栽培暦様式）

令和９年産　もっと安心農産物　春夏にんじん栽培暦

東庄そ菜園芸組合露地部会もっと安心春夏にんじん生産グループ

１．土づくり

完熟堆肥又は緑肥の施用

２．施肥　　☆施肥診断に基づく施肥量の遵守

	肥　料　名	成　　分	施　肥　量
基　肥	①かとりにんじん配合９２８	9-12-８（有機態窒素 1.5%）	130 kg／10 a 以下
	②スーパーにんじんペレット	6-８-８（有機態窒素 3.6%）	240 kg／10 a 以下
	③有機化成 NN１２１号	10-12-10（有機態窒素 1.5%）	110 kg／10 a 以下
	④根菜専用０２６	10-12-6（有機態窒素 1.1%）	110 kg／10 a 以下
	⑤レオユーキF	9-12-9（有機態窒素１%）	100kg/10a 以下
	苦土重焼燐	0-35-0（苦土 4.5%）	40 kg／10 a
	苦土石灰（粒）	苦土 10%　アルカリ 55%	100 kg／10 a

※基肥に①かとりにんじん配合９２８、②スーパーにんじんブリケット、③有機化成 NN１２１号、
④根菜専用 026、⑤レオユーキFのいずれかを施用する。

３．防除　**化学合成農薬使用総成分回数は6回以内**

（但し、ポリオキシン AL 水和剤、Ｚボルドー、ゼンターリ顆粒水和剤はカウントしない。）

月	管理作業	薬　剤　名	希釈倍数・処理量	対象病害虫	備　考（耕種的防除の実施等）
11 月下旬		**②フォース粒剤（播種前）** **ダイアジノン粒剤５（播種前）** **ユニフォーム粒剤（播種前）**	12kg/10a 6 kg/10a 9～18 kg/10a	ネキリムシ類 しみ腐病	発芽を良好にする為、土壌水分を充分に確保してから播種作業を行なう。 播種期間は、12 月上旬から２月下旬までに行なう。 早めに換気作業を行ない病害の発生を防ぐ。 降雨が多い場合は、黒葉枯病対策として、 ポリオキシン AL 水和剤　**500 倍**（収穫７日前迄）　又は ｱﾐｽﾀｰｵﾌﾟﾃｨﾌﾛｱﾌﾞﾙ　**1000 倍**（収穫 21 日前迄） を散布する。 ヨトウムシ防除には **⑤ランネート 45ＤＦ** **1000 倍**（収穫前日迄） アブラムシ防除には アドマイヤー顆粒水和剤 **10,000 倍**（収穫３日前迄） を散布する。 ハスモンヨトウの防除には、ｾﾞﾝﾀｰﾘ顆粒水和剤 **1000 倍**（収穫前日迄）を散布する。 しみ腐病予防と良品生産の為、適期に収穫する。
12 月上旬	播種	**③ゴーゴーサン細粒剤Ｆ、** **ゴーゴーサン乳剤 30、** **トレファノサイド粒剤 2.5** **トレファノサイド乳剤** **クレマートＵ粒剤** **クレマート乳剤** **（播種直後）いずれか１剤**	4～5kg/10a 400ml/10a 4～6kg/10a 300ml/10a 4～6kg/10a 400ml/10a	畑地一年生雑草	
中旬					
下旬					
1 月上旬	換気初め				
中旬					
下旬					
2 月上旬					
中旬	間引き				
下旬					
3 月上旬					
中旬					
下旬					
4 月	トンネル除去	**④ベルクート水和剤** **（収穫 14 日前迄）** **ストロビーフロアブル** **（収穫７日前迄）**	1000 倍 2000～ 3000 倍	黒葉枯病 黒葉枯病	
5 月	収穫				
6 月					
7 月					

①センチュウ類対策として、

・**ネマトリンエース粒剤**（20kg/10a **播種前**）

☆みんなで守ろう生産基準